社会福祉法人　ゴウディングコミュニティ

avancer『アヴァンセ』

令和２年度・第号１０号

令和３年２月吉日　所長　海老澤政昭

早々に一部非常事態宣言が実施され、とても不安な一年の始まりとなってしまいましたが、例年通りに、年度末の準備に取り掛かっているところです。残念なことと言えば、今年度も昨年度同様に、年度まとめの会は残念ですが実施いたしません。

３月初めより個別支援計画の年度まとめ及び令和３年度前期取り組み案の面談が始まります。基本的には、個別支援計画の見直し等は３月、１０月の２回になりますので、ご協力お願いします。

事業所に対する評価のご協力、ありがとうございました。評価の結果については、ホームページに掲載いたしますのでご覧になってください。今回の評価においては、新事業所の建設もあり、ハード面での要望は減少したと思います。ソフト面においても、デイ及び生活介護に対しては全体的に高評価をいただきました。それぞれの支援員及び指導員の努力の成果だと思っています。残念ながら、Ｂ型に関しては、開設初年度もあって、まだまだ取り組みにおける成果を語ることは難しい状況と考えます。そんな中でも、令和２年度後期以降は支援員の動きも活発化し、少しずつ、自分たちの目指す方向の具体化がなされつつあり、その成果として、確実に工賃アップが進みつつあります。まだまだ流動的な部分は多々ありますが、３年を目安に土台を構築したいと考えています。今後も温かいご支援と厳しいご意見をお願いします。

料理することは楽しいですね

岩世ヶ原では仲間たちと共に調理実習を多く取り入れています。生活介護ではまゆ玉作りをしたり放デイはパフェ作りもします。その中でも就労継続支援Ｂ型はカフェの開店に向けてメニューの開発や練習に励んでいます。試作調理では、なかなか上手くいかないことも多々ありますが、前向きに取り組んでいきますので温かい目で見守ってください。

不審者対応避難訓練を実施しました

令和３年１月２５日（月曜日）１５時１５分～今年度第２回目の不審者対応避難訓練を実施しました。今回の想定は、ついうっかり玄関の施錠を開けてしまい、不審者と思われる人物が建物の中に侵入しようとする想定です。しかし、支援員の早急な対応で不審者を追い出し、その様子を他の支援員が察知して防犯ブザーを室内に投げ込み緊急を知らせると言った流れです。当事業所では防犯カメラや防犯ブザーを設置していますので、玄関の施錠を安易に開けないということがポイントです。

【編集後記】

ごうでぃんぐ岩世ヶ原での新年の過ごし方としては、外出することを除けばそれほど変わったことはありません。また生活介護や就労支援Ｂ型の仲間のマスク率も上がり、意識付けは確実に浸透しています。放デイの子ども達も元気に笑顔を見せてくれることが指導員にとってコロナ禍を吹き飛ばす原動力となっています。